



リビア：米国との関係

(3月11日付現地各紙)

3月11日付現地各紙は、クローリー米 국무次官補が9日に行った記者懇談に関し、「米国が公式にリビアに謝罪」等の見出し付きで1面トップで報じた。

1. 米国は、カッザーフィ指導者のジハード発言（注：3月3日付当会かわら版「カッザーフィ指導者によるスイスに対するジハード宣言」ご参照）に関する米 국무省次官補発言について、公式かつ明示的に謝罪し、相互の尊敬と建設的な協力に基づく両国関係の発展を希求することを確認した。

この謝罪は、9日のワシントンでの記者懇談の中で行われ、クローリー米 국무次官補は自分の発言について遺憾に思うとともに謝罪する旨、また自分は米の対リビア政策について発言したものではない旨を述べた。さらに、同次官補は、米国はリビアとの関係発展を希求し、フェルトマン米 국무次官補が本件に関してリビアを訪問することを付け加えた。

2. 本件に関してリビア外務省は10日、以下の声明を発表した。

外務省はクローリー米 국무次官補が9日に行った発言に満足している。外務省は米外務省が示した謝罪と深甚なる遺憾の意、そしてクローリー米 次官補の発言とを受け入れる。外務省は、この謝罪の結果、米国要人のリビア訪問を遅延させた要因が払拭されたと考える。外務省は両国要人の相互訪問を歓迎し、相互の尊敬に基づいたあらゆる分野での両国関係増進を望む。